

7月『田んぼにすむ生物の観察と草取り』

～全行程アルバム～

2010年7月11日（日）

雨が心配された梅雨空の下、田んぼにすむ生き物をたくさん見つけることができました。
今回のキッズフィールドは、5月に田植えをしたあの田んぼです。
稲も、ほら、こんなに大きくなりました。

～ウイングキッズ企画室一同～



初夏の里山には、生き物が
いっぱい！

子供たちは動く虫やザリ
ガにたちに夢中になりま
した。



《到着～そして説明》



くつろいでいるのではありません。
ちゃんと、説明を聞いているのです。

「スズメバチがおそってきたら、ど
うするの？」

「動かな～い！」

「よく覚えてるね！」

(2回目の参加の子や、3回とも参
加の子が元気よく答えてくれます)

それにしても、雨にならなくて良かったね。でも外は暑そう！
「みんな、水分はこまめにとってね！」



《レクレーション》

真光寺の山門前で、みんなでじゃんけん大会。「これからいっぱい歩くから、体を少し動かしておきましょう！」

(これだけで、みなさん汗だくです。)



「お姉さんに負けたら、少しずつ足を
開くんだよ！」



ずいぶんからだが柔らかいね！

でも、最後に負けたのはお姉さんでした。



《里山へ！そして水にすむ生き物探し！》



さあ、里山に向かって出発です！

20分歩いて、まず到着したのは、「紫米」の田んぼ。古代米の一種です。茎がほんのり紫色です。特別に栽培しているそうです。



これは途中で見つけた「タコノアシ」という草。ちょっと珍しい草です。ホントに、タコの足みたいだね。

本当は、こんな花が咲きます→



さあ、到着したよ！ここで、水にすむ生き物をたくさん見つけよう！「カエルいる？」

「いるよ〜！」



つかまえ方を説明するから、みんなよく聞いててね。



「こうやって、水路のなかに網を立てて、歩いて生き物を追い込むんだよ。」



「ほお〜！」
いちばん驚いていたのは大人です。
「たったこれだけで、そんなにとれるの？」
「意外とたくさんいるんですよ！」

子供たちは、「え、何がとれるの？」
いつだって、子供たちは生き物に興味津々。

まったく見るところが違うのもおもしろい
ですね。

ほら！たった一回で、こんなにとれました！
「うわ〜！すごい！」
一瞬で子供たちの目つきが変わりました。

「生き物は、こうやって水の中に入れて観察するんだよ。」
「水の中にすむ生き物にとって、人の手は暑すぎるから、
水の中に入れてそのまま見てあげてね。」



トノサマガエルも登場



さあ、みんなもやってみよう！（でも、最初はこわごわ水に入ります。）





「これ、虫かなあ？」

捕まえた生き物を一所懸命調べてます。→



「ちゃんと草と分けてるの」

「あ、エビがいた！」



カワニナです。
ホタルの幼虫が食べるので有名ですね。

《田んぼの草取り！》

昼食後、山の中を歩いて、5月に田植えをした田んぼに来ました。さあ、草取りです！

「取った草は、どうしたらいい？」

「捨てるんじゃなくて、田んぼの中に入れて踏んづけてね。そしたら、稲の肥料になるんだ。」

「田んぼはオナラもするよ！」

「土の中でガスが発生するから、踏んでガスを抜いてやるだけでもよく育つんだ！」





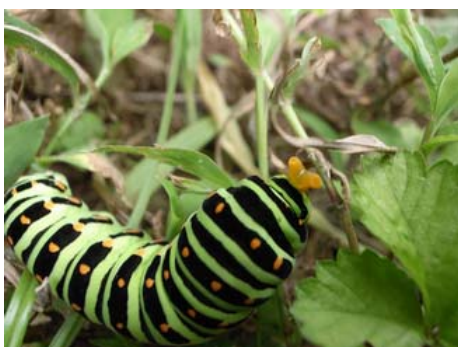
大人も子供もみんなで草取り。
初めて田んぼに入ったお母さんも
いらっしやいました。
「気持ちいいですね。」
そうなんです！



誰かが見つけたカメ。
「うわ～！でっかい！」



田んぼのあぜ道には、キアゲ
ハの幼虫が！
「あ、臭角出してる！」
(撮影のために、ちょっと刺
激しました。)



あれ？きみは田んぼで泳いじゃってますね。
「気持ちいいんだもん！」



みなさん、親子で田んぼを楽しんでいます。



今回は、ナスの収穫体験のおまけ付き



トマトもいただきました。「あま〜い！」



最後に、みんな集まってパチリ。「お疲れ様〜」



田んぼにすむ生き物をたくさん見つけ、子供たちはとても楽しかったようです。何よりも、自然の中で親子で遊ぶ体験は、遊園地や映画では味わえない新鮮な驚きの連続です。今回も、里山の自然をたっぷり味わう一日になりました。

今回で、3回目の参加となる方からは、「田植えから稲刈りまでを夏休みの自由研究に選びました」という嬉しいお話を伺いました。他にも「親子で図鑑を見る機会が増えました」という方もいらっしゃいます。体験を学習のきっかけにされていること、心より嬉しく思います。また、ぜひご参加下さい。

※参加者の方には写真の使用についての承諾を得てあります。

撮影…ウイングキッズ企画室：日高（一部、松村先生から写真を拝借いたしました）